



社会福祉法人

群馬いのちの電話だより

相談電話 027-221-0783

2019.12 Vol.65

編集/社会福祉法人群馬いのちの電話 広報委員会 住所/〒371-8691 前橋中央郵便局私書箱6号 電話/事務局 027-221-1880 FAX027-220-5666

日本の明るい未来と しっかりした自分らしさの形成のために

社会福祉法人群馬いのちの電話 理事

群馬大学医学部臨床教授

医療法人中沢会上毛病院院長 **服部 徳昭**

1971年の厚生白書〔総論序章4〕は「日本の戸主中心の家族制度は第二次世界大戦の終局とともに急速度でくずれ去り、戦後の家庭は戸主中心から夫婦中心に、大家族制から小家族制へと大きく転換している。」と指摘しています。戸田貞三著「家族構成」1937年をもとに計算すると「世帯主および子」の占める割合は1920年（大正9年）には東北五県で71.4%、京阪地方で85.2%、六大都市で88.3%でした。つまり日本では明治時代から全国で核家族化が進み、すでに大正時代にはほぼ出来上がっていたともみられるのです。

そして、第二次世界大戦後に戸主中心の家制度が夫婦中心に変わった点が大きな変換点でした。その後日本社会は変貌を遂げ、核家族から流動家族といわれる家族形態をとるようになりました。流動家族という概念は「個人化する家族で、血縁だけに依拠しない関係性のなかにあるもの」とされています。今や私たちはインターネット革命による「時間と空間の縮小化したグ

ローバルな時代」を生活しているのです。

さらに過去を俯瞰すると、日本人は江戸時代の幕藩体制の身分制度と家に縛られ、自由平等とはかけ離れて生きていました。明治4年に身分解放令が出され、文明開化・自由民権の一方で、混浴、水浴びといった民衆の生活は野蛮なものとして明治政府によって規制され、言文一致、標準語の導入、教育現場を通じて様々な日本人の生活様式に変革がもたらされたのです。この開放と西欧化が私たち日本人のアイデンティティー（自分らしさ、自己同一性）に変化を与えたわけです。

最近の歴史的解釈では、1928年のパリ不戦条約に基づいて紐解いていくとフランクリン・ルーズベルトの1937年のシカゴ演説に始まる西洋列強の経済封鎖は日本を追い込み、日本がパリ不戦条約に保証された自衛権を発動した結果、第二次世界大戦が始まったと説明する専門家の論調が増えています。いずれにせよ、激しい戦いの後、日本人は再び解放され、日本国憲

ひとりぼっちで悩まずに……

相談電話

027-221-0783

相談受付時間 午前9時～午前0時（年中無休）

毎月第2・4金曜日は24時間受信

フリーダイヤル
（毎月10日）

0120-783-556

（8:00～翌8:00）

法のもと新しい民主主義国家として今日に至っているのです。戦後、日本が悪かったという視点からの論調が多いのですが、そうではないと考えさせられる様々な視点もあります(ヘレン・ミアーズ著「アメリカの鏡・日本」)。新たな歴史を再発見する必要も感じます。

二度の解放(西洋化)という歴史的転換は確かに日本人のアイデンティティー形成に深く関与しているのですが、日本語を操る我々日本人は文化的に日本人であり、日本語を操る文化を背負っていくのです。その過程での戦後日本で戸主制が廃止され、経済発展優先策の結果がもたらした一つが家庭における父親不在と母子間の関係性の強化でした。

しかし、それでも日本語を操る私たち日本人は西洋式の生き方を取り入れても魂は日本人であり続けています。アメリカ人のルース・ベネディクト著「菊と刀」、中根千枝著「タテ社会の人間関係」や土居健郎著「表と裏」で日本人の思考・行動様式が見て取れます。

それでも、この文化豊かな日本で生まれ育つときに流動家族という家族が個人化する今、家族構成員がそれぞれのアイデンティティーをしっかりと確立・成長させていく必要があるのです。

ところで、WHOの報告ではヨーロッパで1800万人におよぶ児童が虐待を受け、13%が性的虐待であり、23%が身体的虐待とあります。その結果、子供たちはうつ、不安を抱え、アルコール乱用、自傷行為をするに至ります。また、リスクの高い性行動に走る傾向が高くなるのです。日本でもニュースで家庭内暴力(DV)や

いじめの話が後を絶ちません。なぜ暴力は繰り返されるのか、それは社会や集団における構造・文化の影響(男尊女卑、家長制度的考え等)、生育期の体験等々が要因といわれています。三つ子の魂百までであり、父と母と子の三角関係が安定していると、子供は伸び伸びと育ちます。何かあってもすぐ立ち直る力が脳に備わります。親子の三角関係はアイデンティティーの形成に多大な影響を及ぼすのです。

暴力を振るう男性に共通しているのは女性を殴ることを正当化しようとすることです。

だから男女一緒にメンタルヘルスを行う必要があります。暴力を未然に防ぐことが重要なのです。日本ではDV被害者支援プログラムは公的、NPO法人によるものがあります。しかし、DV加害者支援プログラムの公的サポートはなく、NPO法人によるサポートがあるのみです。公的なものは「加害者を増長させる」という考えでできていないと聞きますが、残念です。

これからも真摯に我々日本人が家庭で自分の住む地域社会でコミュニケーションを重ねて、住みよいまちづくりをしていく必要があると考えます。日本の明るい未来と確固たるアイデンティティー確立のためです。

いのちの電話は、電話の向こうにいる地域社会で弱っている人たちの声を傾聴し、寄り添っていく崇高な営みです。いのちの電話が少しでも社会の片隅で困っている人たちの光明になるように、そして多くの市民の皆様へのいのちの電話の活動を知っていただけることを祈りつつ筆をおくこととします。

こころとこころをつなぐ「聴く」を一緒にはじめませんか？

第29期電話相談員を募集します！ 2020年10月開講予定

【募集内容】

募集条件/20歳以上

申込期間/2020年4月～8月末日

【受講内容】

期 間/2020年10月14日(水)～2021年6月16日(水)

時 間/原則として第1週を除く水曜日午前9時30分～11時30分

会 場/群馬県社会福祉総合センター

☆募集要項のお問い合わせは群馬いのちの電話事務局まで

電話：027-221-1880 FAX：027-220-5666

(土・日・祝日を除く午前10時～午後5時)